

人道的地雷撤去支援

“カンボジア村落開発を促進するための地雷の調査と撤去プロジェクト”

第三四半期プロジェクト報告書:2020年10月-12月



**MAG (Mines Advisory Group)
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

www.maginternational.org/Cambodia

プロジェクトの概要

MAGは1992年からカンボジアでの活動を開始して以来、8300万㎡以上の土地を地雷撤去後にコミュニティへ返還し、190万人の老若男女へ安全な土地を提供してきました。MAGは、カンボジアの北西部の地雷によって汚染されたコミュニティで、地雷とその他の戦争残存物の汚染による危険性を減らす活動をしています。

テラ・ルネッサンスからのカンボジアにおける村落開発を促進するための地雷の調査と撤去プロジェクトへの12ヶ月に及ぶ寛大な資金提供により、MAGは機械部隊を展開し、技術的な調査と優先的な地域の撤去を実施することが可能となっています。250,000㎡の土地が安全となり、4,148名が受益する予定です。

目的

安全になった土地を返却することで、カンボジアの地雷によって影響を受けた農村部のコミュニティの貧困削減と社会経済的發展を維持することへ貢献する。

目標

コミュニティの生活の機会を最大化するために、地雷汚染が推定される地域の機械による調査と撤去を支援する。

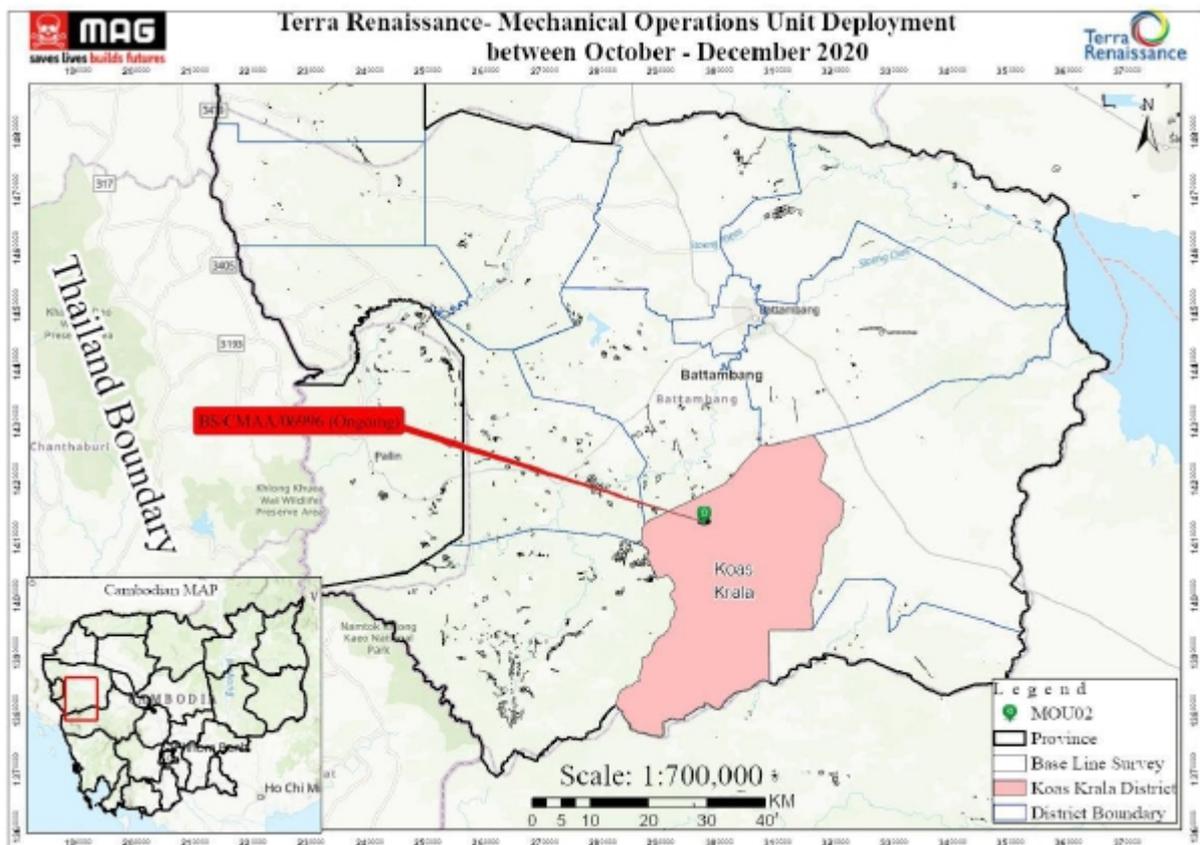
プロジェクト成果の概要

活動	期待される成果の合計	達成された成果 (第三四半期)	達成された成果 (これまでの合計)	達成率 (%)
DIGGER D-250を使った機械部隊によって調査、撤去を通して返還された土地	250,000㎡	62,817㎡	225,715㎡	90%
任務地内で発見された地雷とその他の戦争残存物の100%の安全な撤去と破壊	N/A	0	対人地雷3発	N/A
受益者数(人数)	4,148	0	3,972	96%

プロジェクトの実施

第三四半期中、MAGは機械部隊を下記の地図に示されたバタンバン州のコスクラ郡での撤去活動をするために展開しました。このチームは、今四半期中62,817㎡の地雷に汚染された土地を安全にすることができました。

第三四半期の機械部隊の成果は、第二四半期に報告された成果よりも45%低くなりました。これは、主に予想外の大雨のため、10月と11月を通して機械を地雷源へ運ぶことができなかったためです。結果として、MAGは、これらの2ヶ月間機械部隊の十分な能力を発揮させて、展開することができませんでした。MAGが、DIGGER D-250という機械を浸水した土地で操縦することができなかったとき、チームはMinelab F3という金属探知機を使って、手作業での撤去作業をしました。



プロジェクト成果とインパクト

バタンバン州は、カンボジアの中でも、お米やその他の農産物の主要産地の1つです。これらの農産物は、地域のコミュニティの改善へ貢献するだけでなく、国全体を発展させるものです。Covid-19と10月-11月を通した大雨の影響にも関わらず、2020年のカンボジアのお米の輸出は、2019年の輸出よりも10%高くなっています。地雷の汚染がなくなった安全で使用可能な土地とアクセスは、地域コミュニティの生活とカンボジアの幅広い経済発展の両方に不可欠なものです。

これまでに、機械部隊は225,715㎡の地雷で汚染された土地を安全にし、プロジェクト目標の90%を達成、3発の対人地雷を破壊しました。バタンバン州に住む合計3,972名が直接、もしくは間接的にMAGのチームによって撤去された土地から受益しました。地雷で汚染されていた土地は、お米、キャッサバ、カシューナッツ、トウモロコシなどの農業の目的のために使用されます。農地の撤去は、家族が作物の栽培を拡大し、多様化させ、食料の安全保障と年間収入を増大させることに貢献します。このプロジェクトの受益者数は、とても多く、機械部隊は3カ所の地雷原で活動し、間接受益者のデータは、地雷原に隣接する現地の村に住む全ての人々を含むものになります。

追加情報

外国人チームは、開発を近くで監視し、Covid-19に関する適切な予防と移動手段の実行を継続しています。11月には、MAGはCovid-19の再教育訓練を、バタンバンの実行チームとサポートチームの両方に実施しました。これは、チームが厳しい予防手段に従うことを継続するように促し、マスクの着用や除菌ジェルの使用、ソーシャルディスタンスの維持、密集の回避を含みます。

¹<http://www.crf.org.kh/> - accessed 19 January 2021

加えて、全てのスタッフは、それぞれの活動サイクルの開始時に展開する前に、1日2回のフィールドでの症状と体温測定を実施するとともに、医療的な自己診断と体温測定を継続しています。

Covid-19に関連した渡航制限やカンボジアの特別ビザと入国制限は継続しており、一般的な外国人旅行者たちにとって困難な状況が続いていますが、MAGはプログラムの空席を埋める主要な国際スタッフのメンバーの派遣ができました。新しいサポート・サービス担当と新しいテクニカル・フィールド・マネージャーは、彼らの母国の渡航制限の緩和に従って、10月と11月にプログラムに着任しました。彼らは、第三四半期中の任務を引き受ける以前に、それぞれ14日間の隔離期間を終えています。

2020年11月、MAGのカントリー・ダイレクターはカンボジアを離れ、新しい任務であるMAGラオスのプログラムを引き受けました。新しいカントリー・ダイレクターの採用を現在実施しており、2021年の第一四半期までに、後任がカンボジアへ着任すると期待しています。この期間中、テクニカル・オペレーション・マネージャーが活動とプログラム支援の両方を監督します。

プロジェクトの写真

以下の写真は、機械チームによって、今四半期中にバットンバン州コッス・クララ郡で実施された活動を示しています。

